

患者さまと井上眼科病院をつなぐ、「眼」の情報ペーパー

井上眼科だより

— Inouye Eye Hospital News —

vol.110
2019 AUTUMN

特集

緑内障について

- 西葛西・井上眼科病院「運転外来」のご紹介
- 視覚障害者ボウリング体験会 開催報告



大宮・井上眼科クリニック 野崎院長ごあいさつ



月日が経つのは早いもので、2019年もあとわずかとなりました。大宮・井上眼科クリニックでは、毎日幅広い年齢の患者さまにご来院いただき、感謝申し上げます。また、ご家族やご友人の紹介を通じて当院にご来院される患者さまが多く、大変嬉しく思っております。

当院では一般的な眼疾患から緑内障、小児眼科など幅広く対応しておりますが、患者さまからのご相談内容で多いのは、やはり白内障です。白内障手術は、濁った水晶体を取り除き、代わりとなる人工の「眼内レンズ」に置き換える手術で、日帰りが可能な手術です。当院も日帰り白内障手術に対応しており、年々手術件数が増えてまいりました。手術後の患者さまから、よく見えるようになったという喜びの声を頂くと、とても嬉しい気持ちになります。今後も引き続き白内障治療に力を入れていくと同時に、患者さまを受け入れる体制をより一層強化してまいります。

全ての治療や手術を確実に行うことはもちろんですが、患者さまの気持ちに寄り添った、心をこめた診療を行うことも大切にして診療にあたっています。不安な気持ちを少しでも和らげることができるよう、常に患者さまの目線に立ち、検査結果や症状、治療法を分かりやすく説明し、理解と納得をして頂けるよう努めています。その思いを職員一人ひとりがそれぞれの業務の中で実践し、皆さまに安心してお越しいただけるクリニックを目指しています。

今後も来院される患者さまが笑顔になっていただけるよう、思いやりを忘れずに毎日の診療を着実におこなってまいります。引き続き、大宮・井上眼科クリニックをどうぞよろしくお願いいたします。

大宮・井上眼科クリニック 院長 野崎 令恵

大宮・井上眼科クリニック
ご予約・お問い合わせ

☎048-871-8471

大宮 井上眼科

検索

月～土 … 8:45～12:00/13:30～17:00

特集 緑内障について

40歳以上を中心に、患者さまが多い「緑内障」。

今回は、西葛西・井上眼科病院 國松志保副院長に「緑内障」に関するさまざまな質問にお答えいただきました。



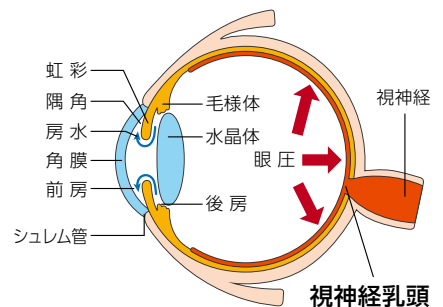
西葛西・井上眼科病院
副院長 國松志保 医師

1 緑内障とはどんな病気？

緑内障は、何らかの原因で視神経が障害され、視野（見える範囲）が狭くなる病気で、眼圧の上昇が原因の一つとされています。日本緑内障学会多治見疫学調査（岐阜県多治見市、2000～2001年）の結果、40歳以上の日本人の緑内障患者の割合は20人に1人（5.0%）であることがわかりました。このことから、推定国内患者数は約465万人*と考えられています。（*2016年人口統計より換算）

2 緑内障の原因は？

眼内では、「房水」という水が産生・循環することで、「眼圧」というある一定の圧力が保たれています。この房水の通り道が目詰まりするなどして排出がうまくいかないと、眼圧が上昇し、視神経乳頭（目で見たものの情報を脳に送る視神経の束のこと）が圧迫され、障害されることがあります。一方で、眼圧が正常範囲内であっても、視神経乳頭が障害され、視野が狭くなる人がいることがわかり、「正常眼圧緑内障」とよばれています。なぜ眼圧が正常なのに視神経乳頭が障害されるのか、ということですが、おそらく視神経乳頭の強さに個人差があるためではないか、と考えられています。いまだに明らかな原因は分かっていません。



3 緑内障になると、何が困るの？

緑内障の初期は、視野のほんの一部が欠けるだけで、痛みなどの自覚症状はありません。またゆっくり進行するため、視野が狭くなってもその見え方に慣れてしまって気が付きません。さらに、人間は両眼で補い合っているため、片眼だけ視野が狭くても気が付かないことが多いのです。しかし、視野障害が進行すると、字が読みにくい、階段を下りるのが怖い、人にぶつかりやすい、車の運転が怖いなど、日常生活に不自由をきたすようになります。そして、末期になると、視力も低下し、読み書きや移動が不自由となり、放置すれば失明することもあります。

多治見市での疫学調査により発見された緑内障患者の中で、緑内障の自覚がなく治療を受けていない人は89%もあり、末期まで症状に気付かないまま経過している症例も多く見られました。これは、緑内障初期の段階では、自覚症状がほとんどないため気づきにくく、「老眼か、白内障かな」と思い込んで放置してしまう方がたくさんいらっしゃるからだと考えられます。

緑内障は早期に発見し適切な時期に治療することで、視野障害の進行を遅らせることが重要です。
症状がない場合でも、定期的に眼科を受診することが大切です。

「運転外来」開設のお知らせ

西葛西・井上眼科病院では、7月31日より、日本の眼科医療機関では初めてとなる運転外来を開設しました。運転外来では、患者さまにドライビングシミュレータを体験していただき、現状の視野と運転能力について、患者さまやご家族の方にご理解いただくための外来です。約5分間ドライビングシミュレータを使用し、運転中に左右方向から飛び出しなどの出来事が起きた場合にご自身がどのような反応をするのか、事故を回避できるかどうかをご確認いただけます。その結果をもとに視野欠損が運転能力に及ぼす影響を検討し、安全運転のために必要な注意点について助言いたします。

運転外来は予約制ですので、まずはお電話にてお問い合わせください。



ドライビングシミュレータ体験の様子

西葛西・井上眼科病院
ご予約・お問い合わせ

☎03-5605-2100
月～土 … 8:30～16:30

西葛西 井上眼科 検索

◎ お茶の水・井上眼科クリニック

お茶の水・井上眼科クリニックでは、治療や手術について知っていただけるよう定期的に説明会を開催しております。

白内障手術において、遠近だけではなく、中間距離にもピントがあう多焦点眼内レンズのニーズが高まっています。その多焦点眼内レンズについて分かりやすくご説明する「プレミアム白内障手術説明会」を毎月行っており、毎回多くの患者さまにご参加いただいております。今後も定期的に開催していきますので、是非ご参加ください。

またレーシック手術におきましても、手術の不安や疑問を少しでもなくしていただけるよう、担当医師が参加者の皆さまのご質問にお答えする説明会を開催しています。角膜の厚さなどによりレーシック手術をお勧めできない場合もございます。まずはお気軽に説明会にてレーシック手術について知っていただければと思っております。

当院では説明会などを通じて、疾患や治療法についてしっかりとご説明をし、ご理解いただいてから手術を受けていただくことを心がけています。説明会の情報は院内掲示、ホームページなどで随時お知らせしておりますので是非ご参加ください。



岡山良子 院長

お茶の水・井上眼科クリニック
ご予約・お問い合わせ

☎03-3295-0923
月～土 … 8:30～16:30

お茶の水 井上眼科 検索

お茶の水・井上眼科クリニック 説明会のご案内

場 所 お茶の水・井上眼科クリニック 18階 屈折矯正外来

お申込・お問合せ 屈折矯正外来 ☎0120-48-4930
9:00～17:00 (日曜・祝日・年末年始除く)

プレミアム白内障手術説明会

- 10月19日(土) 15:00～ 講師:比嘉利沙子 医師
- 10月29日(火) 16:00～ 講師:井上賢治 理事長
- 11月16日(土) 15:00～ 講師:比嘉利沙子 医師
- 11月21日(木) 16:00～ 講師:井上賢治 理事長

ICL(アイシーエル)手術説明会

- 10月12日(土) 15:00～
- 11月 2日(土) 15:00～
- 12月 7日(土) 15:00～

参加無料

しわ取りボトックス注射説明会

- 11月30日(土) 14:00～
- 12月21日(土) 14:00～

レーシック手術説明会

- 10月5日(土) 15:00～

西葛西・井上眼科病院

知っ得セミナー「多焦点眼内レンズについて」を開催いたしました。

2019年6月28日(金)に、知っ得セミナー「多焦点眼内レンズについて」を開催しました。

今回の知っ得セミナーのテーマは、西葛西・井上眼科病院でも行っている「多焦点眼内レンズ」を用いた白内障手術について、井上順治院長よりビデオや図を使ってご説明をいたしました。

白内障手術は、濁った水晶体を取り除き、代わりとなる人工の「眼内レンズ」に置き換える手術で、当院では一つの距離にピントを合わせる「単焦点眼内レンズ」と、遠方から近方にかけてメガネをほとんど必要とせず、自然な見え方を得られる「多焦点眼内レンズ」を扱っています。

井上院長は単焦点、多焦点のそれぞれメリット・デメリットをご説明し、ご自身のライフスタイルに合わせたレンズを選択することの大切さをわかりやすくお話しいただきました。

今後も、患者さまに眼疾患について理解を深めていただくためのセミナーを定期的に開催いたします。

講演のご案内

大切な目を守ろう
井上眼科病院から学ぶ白内障

講師

井上眼科病院 院長 井上賢治

日時

2019年12月3日(火)
13:00～14:30

場所

よみうりカルチャー荻窪

※お申し込みや詳しい内容は
「よみうりカルチャー」ホームページをご覧ください。

<https://www.ync.ne.jp/ogikubo/kouza/201910-18110105.htm>



「眼科専門病院として視覚障害者が活躍し、輝ける場所を創りたい」という井上賢治理事長の思いがきっかけとなり、スポーツを通じて視覚障害者とそのご家族を応援し、また職員の視覚障害への理解と関心を深めるため、視覚障害者スポーツ支援の取り組みを進めています。

今回の視覚障害者ボウリング体験会は、全日本視覚障害者ボウリング協会にご協力いただき、視覚障害者と付き添いの方々も合わせて20名の方が参加されました。全日本視覚障害者ボウリング協会、また当グループからも約30名のボランティアスタッフが参加し、大変にぎやかな体験会となりました。

参加した方からは、「障害で諦めていたボウリングを20年ぶりに出来て本当に楽しかった。」「眼が見えていたころの感覚がよみがえってきた。」などの喜びの声をいただきました。また、最初は誘導が出来るのか心配をしていたボランティアスタッフも、次第に積極的にサポートできるようになり、一緒にボウリングを楽しむことができました。

今後も視覚障害者スポーツの継続的な支援を通じて、視覚障害者とそのご家族が輝ける場所を創りだせるよう、様々な取り組みを続けてまいります。



ガイドレールに触れながら投球します

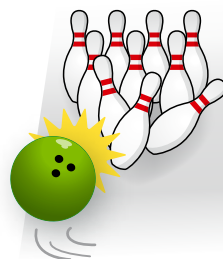


井上理事長も参加しました

視覚障害者ボウリングについて (全日本視覚障害者ボウリング協会ホームページより)

視覚障害者ボウリングのルールは普通のボウリングと同じですが、視覚障害の程度による不公平を少なくするため、見え方により3段階のクラス分けがされます。

視覚情報の補助として、助走スペースに投球方向確認のためのガイドレールという器具を設置・使用します。また、晴眼者によるボールピックアップ、アプローチ上の誘導、ボールの軌道・残ピンの情報、スコアの確認など補助が必要となります。



全国で活躍中の井上眼科OBの先生方をご紹介します！



とやま眼科

外山 茂 院長

1997年3月～2003年9月
井上眼科病院在籍



日帰り白内障手術も行っています



外山院長(左)と当院の井上(右)

今回ご紹介するのは、東京都葛飾区小菅の「とやま眼科」院長 外山茂先生です。外山先生は、お茶の水で医局長、外来医長、病棟医長を歴任され、主に白内障、緑内障の手術などを担当されました。

「前理事長の故・井上治郎先生が患者さまのため毎日のように病院に出勤されていたことが強く印象に残っています。」と、当時を振り返っていらっしゃいました。井上眼科病院との繋がりはご自身の高校時代まで遡るようで、「現理事長の井上賢治先生の弟さんと同級生で、賢治先生に

は昔から可愛がってもらっていました。」とお話しくさしました。

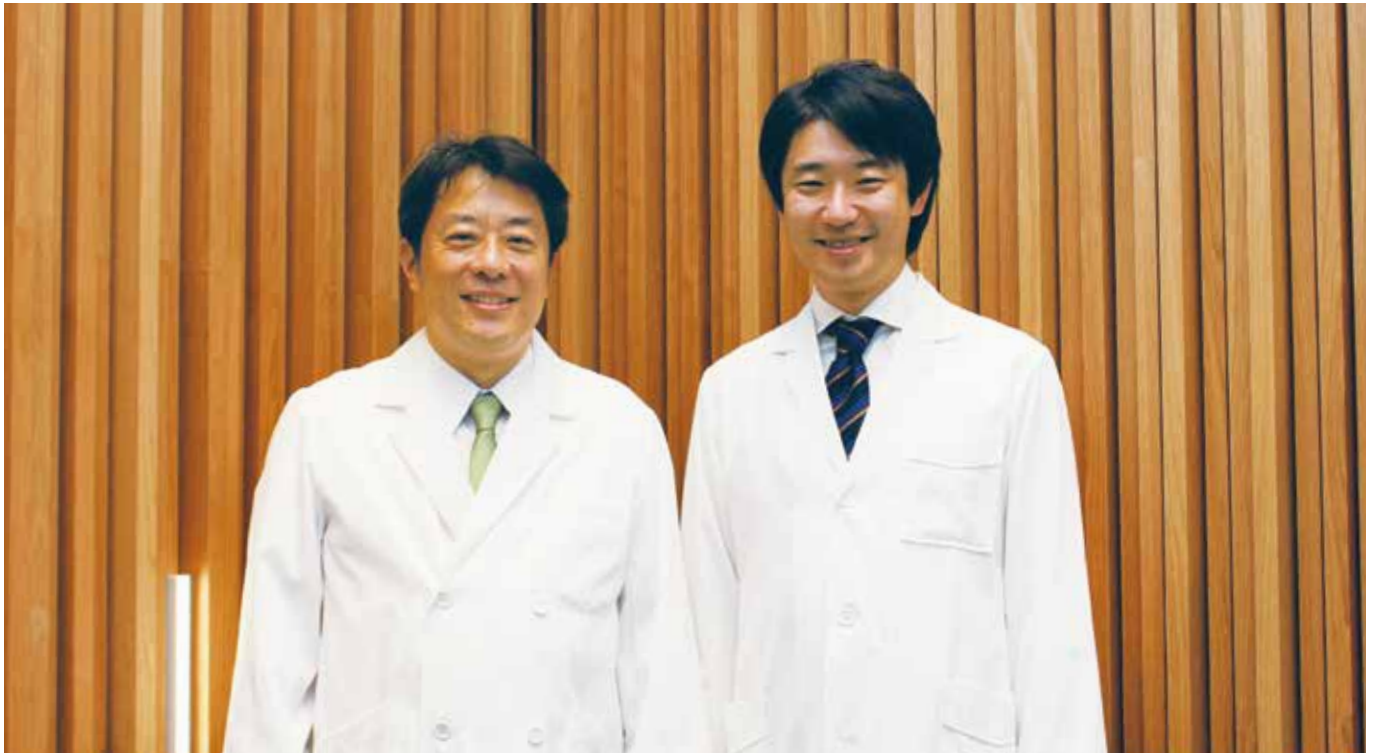
現在のクリニックは、千代田線・常磐線「綾瀬駅」より徒歩1分の好立地で、受付、診察室、検査室を効率的に配置した空間で診察され、週1回日帰り白内障手術などを行っていらっしゃいます。患者さまに優しく丁寧に接することを第一に、患者さまが気楽に立ち寄り、相談ができ、安心してお帰りになることができる、地域に根差した医療を目指しておられます。

井上眼科だより

— Inouye Eye Hospital News —

vol.110
2019 AUTUMN

◎ 札幌・井上眼科クリニック



井上賢治理事長(左)と清水恒輔院長(右)

5月に開院して早いもので半年が経ちました。北海道の方々にも井上眼科病院グループが周知され始め、郊外の方や札幌市以外の市町村からの患者さまも増えてきております。今年の夏は全国的に猛暑となりましたが、北海道も例外ではなく30度を超える日が続きました。さらに今年は、札幌では史上初となる3夜連続の熱帯夜を記録し、スタッフ一同疲弊しておりましたが、何とか克服し問題なく診療を続けることができております。

さて、当クリニックの特徴として、診察室や手術室に加えて「多目的ホール」を有しております。当院は地域医療への貢献を理念として掲げており、地域の方々とのつながりができるよう眼の疾患の説明会を行っております。6月は私が「白内障」について、8月は井上賢治理事長から「緑内障」についての講演があり、いずれも多数の方々にお集まりいただきました。

また、地域医療の一環として北海道札幌視覚支援学校と交流をもっております。説明会には支援学校の方々にもお越しいただき、6月は生徒さんによる合唱、8月は職員の方にマッサージを行っていただき、好評を博しました。

治療だけではなく障害をもつ方が問題なく生活できるようにすることも我々の責務であり、視覚障害に関して市民の方々に知っていただくことは地域医療として非常に有意義なことと思っております。説明会は定期的に行なっていく予定であり、今後も皆さまに眼に関する情報を提供できればと思います。

白内障手術や涙目の手術も積極的に行なっております。手術の希望がある方には、なるべくお待たせすることなく1日でも早く手術ができるよう設備を整えております。手術に関してご要望がございましたら遠慮なくお声がけいただければ幸いです。

札幌・井上眼科クリニック 院長 清水 恒輔

札幌・井上眼科クリニック
ご予約・お問い合わせ

☎011-200-3755

札幌 井上眼科

検索

月～金 … 9:15～12:30/14:00～17:30 土 … 9:15～12:30